

分科会 A

【テーマ】「学術論文のオープンアクセス化の動向 ～医学図書館の対応を考える～」

【要 旨】

「世界で年間に出版される 200 万本の学術論文に支払われている購読料をオープンアクセス (OA) 出版するための費用(APC)に転換すれば、全論文を OA で出版できる！」

マックスプランク研究所電子図書館(ドイツ)の試算により、「ジャーナル購読料の支払い」から「OA 出版料の支払い」への転換を目指す世界的なイニシアチブである“OA2020”が、2016年3月に立ち上がった。

“OA2020”の動きには日々進展が見られ、購読料と APC をセットにした出版社との契約交渉の事例が公開されている。また、公的助成を受けた研究成果の即時 OA 化を目指すイニシアチブである cOAlition S が掲げた 10 原則 “Plan S” の実現可能性に対する意見も連日交わされている。

日本国内では、大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) が、2016年8月、“OA2020”の関心表明に署名し、購読モデルから OA 出版モデルの契約への転換に向けた活動として、国内の研究機関に所属する研究者の公表論文数、OA 論文の比率、APC 支払額の調査に着手した。

本分科会では、出版社、図書館員、研究者の立場から OA 化の動向に関して報告を受けた後、医学図書館の OA 化への対応についてディスカッションをすることを予定している。

【話題提供者】

シュプリングー・ネイチャー (維持会員)

遠藤 昌克

大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 運営委員会 委員長 /

慶應義塾大学 三田メディアセンター 事務長

市古みどり

国立遺伝学研究所 生命情報・DDBJ センター長・教授

有田 正規

【座 長】

東京慈恵会医科大学 学術情報センター

北川 正路

【コーディネーター】

日本医科大学図書館

富田 麻子

札幌市立大学附属図書館

平 紀子

東京慈恵会医科大学 学術情報センター

北川 正路